

知事と政策連携団体代表者の意見交換 議事概要

1 団体名

(公財) 東京観光財団

2 実施日時

9月13日(金) 16時01分～16時19分

3 出席者

- ・団体側出席者：前田理事長、野口専務理事、
松本観光部長(産業労働局)
- ・都側出席者：小池知事、遠藤総務局長、武市財務局長
小林行政改革推進部長

4 議事概要

○小池知事

ラグビーの世界カップや東京2020大会の後も、インバウンドが増えるような設計をしていただければと思う。

インバウンドが増える一方で、地域ではオーバーツーリズムといった課題もあるが、魅力を保ちながら新しい材料も探していかなければならない。

海外の旅行者の目的地として一番多いのはタイ。その要因を分析して東京にも生かさないか。また、24時間を有効に使うという意味で、ナイトライフ観光にもっと伸びしろがあっていると思うが、その辺りはどうなっているのか。

○前田理事長

観光には自然、気候、文化、食事といった要素があると思うが、タイには歴史的な文化や独特な食事があり、観光資源としての宝を持っているのではないかと思う。我々も、日本の文化や食事をしっかり発信しながら、それぞれの都市のいいところを発掘して案内できればいいと思う。

○野口専務理事

夜の観光は、外国の方に人気があり、ワールドカップの開催期間に合わせ、夜の新宿を巡り、その魅力を知っていただくという外国人向けのナイトツアーを進めている。

また、ナイトライフの充実について、企画を募集し、たくさんの御応募をいただいたが、8月にその中から8件ほど最終的に選定した。非常に魅力的な構成になっている。

都と一緒に、懸命に取り組んでいる最中である。

○小池知事

「GO TOKYO」は、世界のネット検索でヒットしやすくする工夫はしているのか。

○野口専務理事

「GO TOKYO」には、非常に多くのイベント情報や街の案内などが含まれている。多言語でも揃え、観光情報がヒットするような形で考えていきたいと思っている。

○小池知事

ネット対策というのは都としても、しっかりやっていきたいと思う。連携して、外国人観光客2,500万人を目指して頑張りましょう。

○武市財務局長

ネット対策等がある中で、IT系の人材等も採用しているのか。

○野口専務理事

将来を見据えると、デジタルマーケティングが普及してくるため、それらの専門人材が将来的に必要なになってくるとは思う。

○遠藤総務局長

災害時に外国人向けの情報サービスが少ない。都も頑張らなければいけないのだが、観光財団の資源を活用し、危機対応をしていただくことも考えていただければと思う。

○前田理事長

今回の台風15号では、痛感した。計画運休があつて午後10時に電車が止まるというのは、外国人旅行者には理解しづらい。

○野口専務理事

京成上野の観光情報センターに多くの外国人が問い合わせに来た。そのため、観光情報センターにおいて、どのように災害対応したらいいのかも含めて、我々も検討していきたいと思う。

○遠藤総務局長

（情報発信等の危機対応については、）総務局の総合防災部で考えていく。観光財団の資源を使っていただきながら、ぜひ協力をお願いしたい。